秀真の里

いなべ市立藤原中学校便り No. １０
令和８年９月１日（火）

みんなで創ろう一人ひとりが輝く藤原小中学校
学校教育目標 学び合い 磨き合い 未来を生き拓く 子ども

「一人ひとりが輝いた」桑員大会でした！

各部活動で夏の最後の大会が６月下旬から行われ、最後の最後まで「チーム」のつながりを大事にした姿を見せてくれました。

桑員大会トップバッターのバスケットボール部は、一回戦の員弁中戦で、一人ひとりがゴールを決めようとする「覚悟」が伝わってくるプレーがたくさんありました。シュートの数は圧倒的に藤原中が多く、リバウンドを積極的に取りに行っては、またシュートを狙う、という場面に何度も歓声が起きました。惜敗でしたが、最後までチームとして諦めずに挑み続けた、素晴らしい姿でした。

北勢中との合同チームで戦った野球部は、一回戦の陽和中戦は、追いつかれながらも延長戦で勝利した感動的な試合でした。翌週の二回戦の東員一中戦では、ピッチャーを務めていた北勢中の選手がケガで投げられなくなったため、今回初めてピッチャーを任された藤原中２年の選手が、素晴らしいピッチングを見せてくれ、また、そのピッチャーを支える多くのプレーもあり、敗れはしましたが、1・2 年生だけで構成された北中・藤中の選手たちが、体格の大きい３年生主体の一中に果敢に挑む姿は、本当に素晴らしかったです。

バレーボール部は一回戦で東員二中と対戦しました。1 セット目を奪われましたが、2 セット目を取り返し、最終セットで逆転勝ちを収めるドラマティックな展開でした。まるで前日のネイションズリーグ日本女子対ポーランド戦のようにワクワクする試合でした。翌週の大安中との二回戦も、1 セット目はデュースまで粘り 24－26、2 セット目は 21－25 で惜しくも敗れましたが、大健闘の戦いでした。3 年生全員が出場し、それぞれが積極的なプレーで輝く姿はとても素敵でした。

女子テニス部は個人戦・団体戦ともに、この猛暑の中で一人ひとりが頑張るだけでなく、「チーム」としての素晴らしい姿を見せてくれました。特に団体戦の最後の試合では、最後までボールを全力で追いかける選手、普段以上のファインプレーを見せた選手、そして諦めずに声をかけ応援し続けた仲間たちがいました。個々の能力も大切ですが、「チーム」として戦うことの価値や大切さ、素晴らしさを改めて感じた場面でした。

男子テニス部は個人戦・団体戦ともに県大会出場という快挙を成し遂げましたが、特に感動したのは、1 点を取った時のペア同士やベンチの仲間の爆発的な喜びの声でした。全身で叫びながら喜びを表現する姿は、普段の授業ではなかなか見られないものでした。応援の声もひときわ大きく、出場する選手だけでなくベンチや応援席も含めて「チーム」全員で戦っている、その姿に感動しました。

「いつかは最後の瞬間がやってくる。その最後をどんな終わり方にするかは自分たちが決めます。」と壮行会で語っていた３年生の言葉どおり、一人ひとりが輝く、素晴らしい幕引きでした。

夏休み中のいろんな姿 部活動









屋外の部活動は、朝の涼しい時間のみ屋外で練習をし、後半はエアコンが利いた体育館や武道場で練習、という日が多かったです。子どもたちの体調と気温に最大限の注意をはらいながら工夫して練習をしました。

創作部も頑張りました！

創作部は、7 月 13 日から 15 日の個別懇談の時間に、生徒・保護者向けに「お楽しみガチャガチャ」コーナーを企画し、キーホルダーなどの手作り小物や育てた多肉植物をプレゼントしてくれました。どれも素敵で、選ぶのにとても悩みました。

また、メシェレいなべさんと一緒に東坂の花植えを行い、生徒の登下校や来校者の方々の心を癒す素敵な花壇ができあがりました。夏休み中は、創作部と顧問の先生、そしてメシェレさんにもご協力いただき、毎日欠かさず水やりをしていただきました。





学習会



夏の学習会は、自主学習教室開放、３年生の特別講座、特別支援学習会などを実施しました。３年生特別講座は希望制ですが、３年生のほぼ全員が希望していました。積極的ですごい！

ソーラン隊練習





手はＬ字形！
指先は目の高さ！





７月２８日（火）にソーラン演舞の講師として、藤原ソーランをつくられた稲田有沙先生に来ていただいて、ご自身の経験をふまえたお話とともに、ソーラン演舞のスピリットを伝授していただきました。

全校登校日　平和学習会（８月６日）

三輪了啓さんのお話から学ぶ「戦争と平和」～



藤原小中学校運営協議会・秀真委員会会長である三輪了啓さんを「平和学習」の講師としてお招きし、全校生徒でお話を聞かせていただきました。戦時中の学校や家での生活の様子、沖縄で聞いたお話、そしてお母さんから聞かれたお話…。どんどん戦争を知る方が少なくなる中で、この了啓さんのお話は40分という時間では収まりきらない重みの詰まった貴重なお話でした。戦争は決して過去のものではなく、今も戦争が起こっている国もあり、苦しんでいる人や子どもたちがいます。戦争を知らない私たちができることは、了啓さんの思いを受け取り、次の世代へバトンをつなげ続けることだと、お話を聞き終わった時、改めてそんな思いを強くしました。

８月６日は誰もが忘れてはいけない日です。そんな思いで今日学校に来ました。そして、三輪さんの話を聞いて改めて感じました。自分も社会の授業で原爆について勉強しましたし、「はだしのゲン」も少し読みました。全員が戦争に参加しなくてはいけない状況、とても心が痛かったです。今、自分に何ができるか考えた時、やっぱり戦争について聞いたことを周りの人に広めていくことが大事やと思いました

今も戦争をしている国があるので、”戦争は昔のこと”ととらえてはいけないと思いました。そして今日の話を家族にも伝えようと思います。

大変な思いもして、苦しみながらも必死に生きようとしていたことが、心に残りました。今の日本は本当に平和なんだなと思います。私達は今、勉強ができるし、自由にもできている。戦争で苦しんだ人達の分も一生懸命生きたいし、一日一日を大切にしようと思えました。

お話を聞いて改めて戦争は残酷で起こってはならないと分かりました。沖縄戦で、米軍に見つからないように、赤ちゃんの口をふさぐ、という話が印象に残りました。誰も悪くないのに、悪いのは戦争なのに。殺してしまったという罪悪感にさいなまれることに胸が苦しくなりました。自分が今、生きていること、食事ができること、教育が受けられることに感謝していきます。

さあ、本日から2学期が始まりました。45日間の夏休みはどうでしたか？

今年の夏も昨年以上の猛暑・酷暑（ちなみに、暑さに関する新聞記事で印象的だった見出しは『暑すぎて、酷』でした）で、雨が降った日はほとんどないと言っていいほど、毎日毎日が暑さとの闘いでした。今年から体育館にエアコンがついたので、体育館での活動は快適！でしたが、最初の一週間は全国的な「5日連続酷暑日」で、外部活は活動制限の中、工夫して練習をしていました。

部活動以外にも学習会やソーランの練習などいろんな活動がありましたが、暑い中でも元気に頑張って登校してくる生徒みんなの姿がキラキラ輝いていました。この夏を乗り越えたことが大きな力となっていて、2学期を頑張りきるためのエネルギーとなっているはずです。

まずは中間テストがありますので、その勉強を頑張りましょうね。そして、10月に予定の中学校最大行事である体育祭に向けて、みんなで力を合わせてさらなる仲間づくりをしていきましょう！



保護者の皆さまへ

９月１日より本校全学年の数学科担当として、西脇　信二（にしわき　しんじ）が新規採用として着任しましたのでお知らせいたします。